

仙台市におけるいじめの状況について

～ 令和3年度 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果より ～

1 認知件数

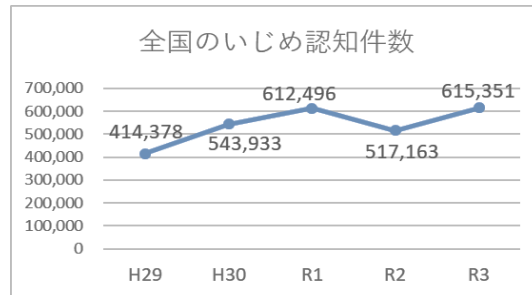
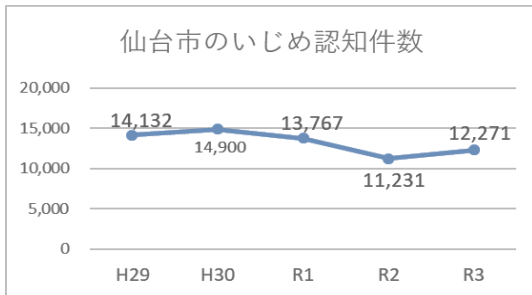
[表-1-1]

	H29	H30	R1	R2	R3	増減（前年度と比較）	増減（元年度と比較）
小学校	12,344	12,895	11,874	9,899	10,685	+786	-1,189
中学校	1,778	1,980	1,872	1,316	1,558	+242	-314
高校・特支	10	25	21	16	28	+12	7
全体	14,132	14,900	13,767	11,231	12,271	+1,040	-1,496
増減率	-5.3%	5.4%	-7.6%	-18.4%	9.3%		

(参考) 全国

[表-1-2]

	H29	H30	R1	R2	R3	増減（前年度と比較）	増減（元年度と比較）
小学校	317,121	425,844	484,545	420,897	500,562	+79,665	+16,017
中学校	80,424	97,704	106,524	80,877	97,937	+17,060	-8,587
高校・特支	16,833	20,385	21,427	15,389	16,852	+1,463	-4,575
全体	414,378	543,933	612,496	517,163	615,351	+98,188	+2,855
増減率	28.2%	31.3%	12.0%	-15.6%	19.0%		



- ・令和3年度の校種別いじめの認知件数は、小学校が10,685件、中学校が1,558件、高等学校・特別支援学校が28件、計12,271件であり、令和2年度と比較し、小・中・高・特別支援学校のすべての校種で増加している。
- ・前年度と比較し、いじめの認知件数は増加したが、経年の変化を見ると、平成30年度から徐々に減少傾向にあると考えられる。また、令和2年度に大きく減少したのは、新型コロナウイルスによる臨時休業の影響が考えられる。

[表-1-3]

R2年度	指定都市別	1000人当り件数
1	新潟市	214.6
2	仙台市	139.4
3	大阪市	114.3
⋮		
18	名古屋市	14.4
19	岡山市	10.8
20	さいたま市	10.6
	平均	46.7



R3年度	指定都市別	1000人当り件数
1	新潟市	232.2
2	仙台市	152.3
3	大阪市	124.0
⋮		
18	相模原市	22.4
19	福岡市	21.8
20	さいたま市	13.1
	平均	56.1

1000人当たりの件数の政令指定都市間の比較では、昨年度に引き続き2番目に多くなっている。これは、児童生徒が声を上げやすい環境づくりなどを進めるとともに、いじめの積極的な認知に努めていることが、本市のいじめ認知件数が多い一因と捉えている。

2 解消率 [表-2-1]

	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	93.8%	91.0%	86.7%	81.8%	82.7%
中学校	84.0%	87.0%	82.4%	81.7%	82.5%
高校	90.0%	92.0%	81.0%	100.0%	78.6%
全体	92.6%	90.4%	86.1%	81.9%	82.6%

(参考) 全国 [表-2-2]

	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	86.5%	84.7%	83.6%	77.5%	80.4%
中学校	83.8%	82.9%	81.5%	76.9%	79.1%
高校	83.4%	82.7%	82.9%	79.4%	80.0%
全体	85.8%	84.3%	83.2%	77.4%	80.1%

・全国と比較し、本市の小・中学校のいじめの解消率は高くなっている。

3 いじめの態様について (複数回答可)

【小学校】 [表-3-1]

種別	H29	H30	R1	R2	R3
冷やかしやからかい等	7,304 (59.2%)	7,893 (61.2%)	6,954 (58.6%)	5,936 (60.0%)	6,721 (62.9%)
仲間はずれ, 集団による無視	2,346 (19.0%)	2,009 (15.6%)	1,927 (16.2%)	1,292 (13.1%)	1,344 (12.6%)
軽くぶつかられたり, 叩かれたり等	3,602 (29.2%)	3,889 (30.2%)	3,605 (30.4%)	2,917 (29.5%)	3,423 (32.0%)
ひどくぶつかられたり, 叩かれたり等	898 (7.3%)	678 (5.3%)	667 (5.6%)	510 (5.2%)	954 (8.9%)
金品をたかられる	392 (3.2%)	503 (3.9%)	237 (2.0%)	135 (1.4%)	104 (1.0%)
金品をかくされたり壊されたり等	1,401 (11.3%)	1,139 (8.8%)	1,067 (9.0%)	719 (7.3%)	861 (8.1%)
嫌なことや恥ずかしいこと, 危険なこと	1,327 (10.8%)	1,322 (10.3%)	1,147 (9.7%)	1,310 (13.2%)	1,436 (13.4%)
パソコンや携帯電話等で誹謗中傷	90 (0.7%)	80 (0.6%)	89 (0.7%)	110 (1.1%)	127 (1.2%)
その他	1,149 (9.3%)	1,112 (8.6%)	1,024 (8.6%)	826 (8.3%)	1,241 (11.6%)

※()内の数値は認知件数に占める割合

【中学校】 [表-3-2]

種別	H29	H30	R1	R2	R3
冷やかしやからかい等	1,319 (74.2%)	1,411 (71.3%)	1,358 (72.5%)	898 (68.2%)	1,144 (73.4%)
仲間はずれ, 集団による無視	292 (16.4%)	263 (13.3%)	268 (14.3%)	145 (11.0%)	156 (10.0%)
軽くぶつかられたり, 叩かれたり等	248 (13.9%)	244 (12.3%)	284 (15.2%)	175 (13.3%)	282 (18.1%)
ひどくぶつかられたり, 叩かれたり等	49 (2.8%)	80 (4.0%)	48 (2.6%)	70 (5.3%)	115 (7.4%)
金品をたかられる	17 (1.0%)	13 (0.7%)	14 (0.7%)	10 (0.8%)	5 (0.3%)
金品をかくされたり壊されたり等	107 (6.0%)	113 (5.7%)	120 (6.4%)	67 (5.1%)	86 (5.5%)
嫌なことや恥ずかしいこと, 危険なこと	136 (7.6%)	155 (7.8%)	124 (6.6%)	120 (9.1%)	215 (13.8%)
パソコンや携帯電話等で誹謗中傷	135 (7.6%)	170 (8.6%)	149 (8.0%)	160 (12.2%)	155 (9.9%)
その他	112 (6.3%)	83 (4.2%)	94 (5.0%)	67 (5.1%)	63 (4.0%)

※()内の数値は認知件数に占める割合

・小中学校ともに「冷やかしやからかい等」(小学校で62.9%、中学校で73.4%)が最も多く、次いで「軽くぶつかられたり、叩かれたり等」であった。

4 いじめの発見のきっかけ

【小学校】

[表-4-1]

	H29	H30	R1	R2	R3
学校の教職員等が発見した。	10,171 (78.9%)	10,213 (79.2%)	9,466 (79.7%)	7,010 (70.8%)	8,046 (75.3%)
学級担任が発見した。	313 (2.4%)	517 (4.0%)	546 (4.6%)	362 (3.7%)	174 (1.6%)
学級担任以外の教職員が発見した。 (養護教諭, S C等の相談員を除く)	54 (0.4%)	66 (0.5%)	48 (0.4%)	31 (0.3%)	35 (0.3%)
養護教諭が発見した。	13 (0.1%)	19 (0.1%)	9 (0.1%)	3 (0.0%)	7 (0.1%)
スクールカウンセラー等の相談員が発見した。	20 (0.2%)	12 (0.1%)	3 (0.0%)	11 (0.1%)	3 (0.0%)
アンケート調査など学校の取組により発見した。	9,771 (75.8%)	9,599 (74.4%)	8,860 (74.6%)	6,603 (66.7%)	7,827 (73.3%)
学校の教職員以外からの情報により発見した。	2,173 (16.9%)	2,682 (20.8%)	2,408 (20.3%)	2,889 (29.2%)	2,639 (24.7%)
本人からの訴え	1,471 (11.4%)	1,709 (13.3%)	1,330 (11.2%)	1,803 (18.2%)	1,446 (13.5%)
当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	509 (3.9%)	843 (6.5%)	890 (7.5%)	866 (8.7%)	957 (9.0%)
児童生徒(本人を除く。)からの情報	98 (0.8%)	82 (0.6%)	110 (0.9%)	138 (1.4%)	153 (1.4%)
保護者(本人の保護者を除く。)からの情報	22 (0.2%)	32 (0.2%)	53 (0.4%)	56 (0.6%)	75 (0.7%)
地域の住民からの情報	6 (0.0%)	4 (0.0%)	11 (0.1%)	6 (0.1%)	4 (0.0%)
学校以外の関係機関(相談機関含む)からの情報	9 (0.1%)	6 (0.0%)	11 (0.1%)	3 (0.0%)	4 (0.0%)
その他(匿名による投書など)	58 (0.4%)	6 (0.0%)	3 (0.0%)	7 (0.1%)	0 (0.0%)

※()内の数値は認知件数に占める割合

【中学校】

[表-4-2]

	H29	H30	R1	R2	R3
学校の教職員等が発見した。	1,034 (58.2%)	1,067 (53.9%)	929 (49.6%)	586 (44.5%)	766 (49.2%)
学級担任が発見した。	66 (3.7%)	125 (6.3%)	75 (4.0%)	50 (3.8%)	90 (5.8%)
学級担任以外の教職員が発見した。 (養護教諭, S C等の相談員を除く)	50 (2.8%)	74 (3.7%)	76 (4.1%)	57 (4.3%)	87 (5.6%)
養護教諭が発見した。	3 (0.2%)	14 (0.7%)	14 (0.7%)	4 (0.3%)	5 (0.3%)
スクールカウンセラー等の相談員が発見した。	0 (0.0%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)
アンケート調査など学校の取組により発見した。	915 (51.5%)	849 (42.9%)	764 (40.8%)	473 (35.9%)	584 (37.5%)
学校の教職員以外からの情報により発見した。	744 (41.9%)	913 (46.1%)	944 (50.4%)	730 (55.5%)	792 (50.8%)
本人からの訴え	455 (25.6%)	507 (25.6%)	539 (28.8%)	447 (34.0%)	469 (30.1%)
当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	225 (12.7%)	294 (14.8%)	291 (15.5%)	201 (15.3%)	228 (14.6%)
児童生徒(本人を除く。)からの情報	47 (2.6%)	98 (4.9%)	84 (4.5%)	60 (4.6%)	84 (5.4%)
保護者(本人の保護者を除く。)からの情報	10 (0.6%)	9 (0.5%)	23 (1.2%)	16 (1.2%)	8 (0.5%)
地域の住民からの情報	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)
学校以外の関係機関(相談機関含む)からの情報	6 (0.3%)	4 (0.2%)	6 (0.3%)	5 (0.4%)	2 (0.1%)
その他(匿名による投書など)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

※()内の数値は認知件数に占める割合

- ・小中学校ともに「アンケート調査など学校の取組により発見した」(小学校73.3%、中学校37.5%)が多い。
- ・特に小学校ではアンケートなど学校の取組(小学校73.3%)が多く、中学校ではそれに加え「本人からの訴え」(中学校30.1%)の割合も多くなっている。

5 いじめられた児童生徒の相談の状況（複数回答可のため、4の数とは一致しない）

【小学校】

[表-5-1]

区分	H29	H30	R1	R2	R3
学級担任に相談した。	7,358 (59.6%)	8,679 (67.3%)	7,849 (66.1%)	7,202 (72.8%)	9,030 (84.5%)
学級担任以外の教職員に相談した。 (養護教諭, S C等の相談員を除く)	617 (5.0%)	434 (3.4%)	452 (3.8%)	234 (2.4%)	181 (1.7%)
養護教諭に相談した。	216 (1.7%)	218 (1.7%)	319 (2.7%)	128 (1.3%)	108 (1.0%)
スクールカウンセラー等の相談員に相談した。	248 (2.0%)	194 (1.5%)	114 (1.0%)	122 (1.2%)	68 (0.6%)
学校以外の相談機関に相談した。 (電話相談やメール等も含む)	79 (0.6%)	68 (0.5%)	72 (0.6%)	151 (1.5%)	17 (0.2%)
保護者や家族等に相談した。	6,521 (52.8%)	5,577 (43.2%)	5,094 (42.9%)	4,351 (44.0%)	3,067 (28.7%)
友人に相談した。	2,236 (18.1%)	1,825 (14.2%)	1,609 (13.6%)	1,129 (11.4%)	623 (5.8%)
その他の人（地域の人など）に相談した。	236 (1.9%)	122 (0.9%)	142 (1.2%)	105 (1.1%)	32 (0.3%)
誰にも相談していない。	1,431 (11.6%)	1,408 (10.9%)	1,178 (9.9%)	689 (7.0%)	687 (6.4%)

※()内の数値は認知件数に占める割合

【中学校】

[表-5-2]

区分	H29	H30	R1	R2	R3
学級担任に相談した。	1,339 (75.3%)	1,560 (78.8%)	1,385 (74.0%)	932 (70.8%)	1,161 (74.5%)
学級担任以外の教職員に相談した。 (養護教諭, S C等の相談員を除く)	354 (19.9%)	280 (14.1%)	297 (15.9%)	176 (13.4%)	228 (14.6%)
養護教諭に相談した。	70 (3.9%)	56 (2.8%)	75 (4.0%)	49 (3.7%)	44 (2.8%)
スクールカウンセラー等の相談員に相談した。	36 (2.0%)	41 (2.1%)	21 (1.1%)	12 (0.9%)	15 (1.0%)
学校以外の相談機関に相談した。 (電話相談やメール等も含む)	29 (1.6%)	12 (0.6%)	10 (0.5%)	9 (0.7%)	6 (0.4%)
保護者や家族等に相談した。	791 (44.5%)	710 (35.9%)	645 (34.5%)	378 (28.7%)	534 (34.3%)
友人に相談した。	337 (19.0%)	234 (11.8%)	215 (11.5%)	141 (10.7%)	122 (7.8%)
その他の人（地域の人など）に相談した。	12 (0.7%)	17 (0.9%)	7 (0.4%)	3 (0.2%)	2 (0.1%)
誰にも相談していない。	128 (7.2%)	128 (6.5%)	122 (6.5%)	110 (8.4%)	117 (7.5%)

※()内の数値は認知件数に占める割合

・小中学校ともに「学級担任に相談した」(小学校84.5%、中学校74.5%)が最も多かった。